

# 第5学年国語科学習指導案

指導者 矢田 倫一  
吉武 諒

1. 単元名 私がおすすめする宮沢賢治作品はこれです！  
～フラワーリーフレットで宮沢賢治のメッセージを伝えよう～  
教材名「雪わたり」（教育出版5年下）  
宮沢賢治シリーズ

## 2. 単元を貫く言語活動とその特徴

### (1) 本単元を貫く言語活動

本単元を貫く言語活動として、「C読むこと」の言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと」を具体化し、「私がおすすめする宮沢賢治作品はこれです！～フラワーリーフレットで宮沢賢治のメッセージを伝えよう～」と設定した。教科書教材「雪わたり」や同一作者の本を読み、自分がおすすめしたい表現や場面をフラワーリーフレットにまとめていく活動を位置付けた。

そして、完成したフラワーリーフレットを宮沢賢治記念館に送り、展示していただいたり、学芸員さんからの感想、記念館を訪れた人からの感想をいただいたりすることで、宮沢賢治作品だけでなく、他の優れた作家の本にも子ども達の読書活動を広げていきたい。

### (2) 本単元を貫く言語活動の特徴

本単元でつくる「フラワーリーフレット」は、以下のような構造を持っている。

**おすすめの表現とその理由③④**  
自然描写、様々な技法、登場人物の心情など、作品のたくみな表現を本文から抜き出し、その表現を選んだ理由について自分の考えまとめている。(C-エ)

**登場人物とあらすじ①②**  
登場人物とあらすじを本文を使ってまとめる。(C-エ)

**この作品で伝えたいこと⑦**  
宮沢賢治が伝えたいことを、優れた叙述をもとに、自分の考えをまとめる。(C-エ)

**おすすめの場面とその理由⑤⑥**  
場面についての描写をとらえ、おすすめしたい場面を抜き出し、その場面を選んだ理由について、優れた叙述をもとに自分の考えをまとめる。(C-エ)

**① 登場人物の紹介**  
① ふたごの星  
・オムセ童子  
・ホウセ童子  
② 大からすの星  
③ セリリの星  
④ いなずま

**② あらすじ**  
ある朝二人は遊園に出かけた。西の野原のいすびで、大からすの星とセリリの星のけんかを見て、大からすの星とセリリの星を家へ運んで来たが、ふたごの星はカマをたおしてしまっした……

**③ ④**  
「お日さまがカマカマをおこし、そのおかげで中ずぶずぶと、この表現はかまいた。カマカマというオムトベから、太陽が空と空と空と空との間をくぐりながら、お日さまのまわりの空をまわって、お日さまのまわりに使っている。この世界の王様のお日さまは、お日さまのまわりに使っている。お日さまのまわりに使っている。お日さまのまわりに使っている。」

**⑤ ⑥**  
自分の体が傷つくことよりも、ふたごの星が家に帰るまで、セリリの星が家におくれることが、心配している。ふたごの星の言葉に、葉に感動しました。

**⑦ この作品で伝えたいこと**  
この作品で伝えたいこと、宮沢賢治は私たちに何を伝えたいと、思っています。

### (3) 単元を貫く言語活動とねらいの結びつき

フラワーリーフレットを使って、自分がおすすめしたい宮沢賢治作品の「おすすめの表現」「おすすめの場面」「宮沢賢治が伝えたいこと」を紹介することで、本単元のねらう第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」ができると考えた。

また、おすすめの表現、おすすめの場面の理由をまとめる前に、クラゲチャートを用いて子どもたちの考えを交流することによって、自分の考えを見直したり、深めたり、新たな考えに気付いたりさせていきたい。この時に、「C 読むこと」の指導事項「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」にも迫ることができると考えた。そして、叙述をもとに比喩や擬人法などの表現方法をまとめることによって、伝国イ(ケ)「比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと」もできると考えた。

## 3. 単元について

### (1) 児童について

子ども達は、これまでに2つの物語の学習を行ってきている。1学期に行った「いつか大切なところ」では、「心情マップをつくって、主人公の気持ちを読みとこう」という言語活動を設定した学習を行い、「大造じいさんとがん」では、「ショーウィンドウで、椋鳩十作品の魅力を伝えよう。」という言語活動を設定した学習活動を行ってきている。心情マップや心情曲線を用いた学習活動を行ってきたことで、登場人物の関係をとらえることができるようになってきている。さらに、物語の魅力的な描写、表現を紹介するコーナーを取り入れたことによって、作品の素晴らしい描写、おすすめしたい場面など自分の考えをまとめることに慣れてきている。しかし、なぜその描写がよいのか、どのような表現が素晴らしいのかというような自分の考えをまとめる学習を十分に行っていないため、情景描写など各種表現技法、登場人物の心情を表した巧みな表現など優れた叙述について、その素晴らしさを読むことが十分にできていない。また、あらすじを捉えさせる指導も十分に行っていないため、長文になるほどあらすじを捉えることを苦手としている子どもが多いのも現状である。

シンキングツールは、各教科のなかで適宜使ってきている。「大造じいさんとがん」の山場を考える時にはピラミッドチャートを用いて、付箋に書き出した出来事のなかから山場としてふさわしい場面はどこなのかを話し合うことを行った。説明文を書く学習ではベン図を用いて、書く内容の共通点と相違点を整理させてきた。いくつかのシンキングツールを使ってきたことで、その有用性を子どもたちは感じる事ができている。しかし、こちらがツールを紹介して使うことが多いので、子どもたち自身が目的に応じてツールを選択するまでは至っていないのが現状である。

### (2) 教材及び単元構成について

#### ①教材について

本単元では教科書教材「雪わたり」を扱う。この物語は美しい雪の野原を背景に、少し生意気そうな子ぎつね紺三郎と、真面目な人間の四郎とかん子との心温まる交流を描いた作品である。情景描写に優れ、独特のリズムで展開されていく点や、人間と動物とのやりとりの中でしだいに心を通わせていく点など、宮沢賢治ならではの魅力にあふれた作品となっている。また、リズムカルな文体、様々な技法、言葉のおもしろさや楽しさを味わいながら、人物の動きや心情を捉えることができる物語である。

並行読書として宮沢賢治作品シリーズの本を読む。ファンタジー作品が多く、子どもたちも作品の世界を想像しながら読むことができると考えた。さらに、それぞれの本で比喩や擬人法などの技法が用いられていたり、自然描写の仕方、登場人物の心情をたくみに表現していたりするので、宮沢賢治作品の表現技法の素晴らしさを感じさせることができると考えた。シリーズの本を読み比べることによって、感じたこと、思ったこと、考えたことをおすすめの本の魅力として紹介したいという意欲を高めることができる教材である。

#### ②単元構想について

第一次では、宮沢賢治の本の読書体験を出し合い、今年が宮沢賢治生誕120周年にあたり、宮沢記念館で様々な催しが行われていることをポスターなどを提示して知らせる。そして、宮沢記念館に作品を送ることを伝え、教師が作成したフラワーリーフレットを提示する。そして、「みんなが読んだ宮沢賢治の本のなかからお勧めする本を選び、フラワーリーフレットで記念館の学芸員さんや観光客に宮沢賢治の本を推薦しよう。」と投げかけ、推薦するために必要な事柄を話し合い、子ども達と学習計画を立てる。

第二次では、まずは教科書教材「雪わたり」を読んで主な登場人物と出来事を付箋に書き出していく。それらをプロット図に整理していくことによって、物語の導入、クライマックス、終末などをとらえさせ、リーフレットのあらすじと登場人物を仕上げる。次に、「雪わたり」のおすすめの表現とその理由をまとめるために素晴らしいと思った表現に線をひく。そのなかから、特におすすめしたい表現を選び、その理由をクラゲチャートにまとめる。そして、クラゲチャートを用いてグループで共通点や相違点を探しながら意見交流をすることによって、自分が選んだおすすめ表現が様々な技法を使っているか、情景描写や登場人物の心情を表した表現となっているかを見直し、おすすめ理由をリーフレットに書く。次に、プロット図を用いて、「雪わたり」のおすすめの場面を考える。なぜ、その場面がおすすめなのかクラゲチャートにまとめ、グループで共通点や相違点を探しながら意見交流を行って、自分が選んだおすすめ場面の理由をリーフレットに書く。最後に、これまで作成したパーツを使って、「雪わたり」の作品を通して、宮沢賢治は私たちに何を伝えたいのか自分の考えをリーフレットに書く。「雪わたり」のフラワーリーフレットが完成したら、並行読書を行ってきた本の中からおすすめの本を選び、その本を推薦するためのフラワーリーフレットを同じ流れで作成していく。

第三次では、完成したフラワーリーフレットを使ってお気に入りの本を紹介する。宮沢賢治記念館で様々な人が読むことを想起しながら交流を行い、リーフレットの内容を推敲、修正させていきたい。交流後、フラワーリーフレットの手直しを行い宮沢賢治記念館に送る。そして、感想などをいただき記念館との交流をはかっていきたい。

### (3) 指導の工夫について

本単元では、おすすめの本を使ってフラワーリーフレットをつくり、宮沢記念館に送ることを意識させながら宮沢賢治シリーズの本を読ませていきたい。おすすめの本を明確にさせるには、宮沢賢治シリーズの本の世界を味わわせることが大切であると考え。そのために、プロット図をつかって主な出来事を整理し、あらすじをとらえさせたい。また、フラワーリーフレットの「おすすめ表現の理由」「おすすめ場面の理由」をまとめる活動では、なぜその表現、場面がおすすめなのか自分の考えをクラゲチャートに整理させ、グループで共通点や相違点を探しながら意見交換を行わせる。様々な技法、登場人物の心情、情景描写などに目をむけ、優れた叙述について子どもたちの意見を交流したのち、自分の考えをまとめさせていきたい。

本時では、クラゲチャートを使って、おすすめ表現として選んだ理由をグループで紹介することを始めに行う。おすすめ表現が同じでもその理由が異なっていること、違う表現を選んでいてもその理由が共通していること、自分では気がつかなかったことなどを話し合いのなかで出し合わせたい。その後、リーフレットにおすすめ表現の理由を書くことで、話し合いを通して気付いたことや思ったことを個人でふりかえらせたい。グループの話し合いで、自分のおすすめ理由についてどのようなアドバイスももらったのか個人で見直す時間を設けることで、自分の考えを整理することができ、リーフレットに理由を書きやすくなるのではないかと考えた。

## 4. 単元の指導目標

- 自分がおすすめしたい宮沢賢治の本を、フラワーリーフレットをつくって紹介するという目的をもって、本を読んでいる。
- おすすめ表現とその理由、おすすめ場面とその理由、宮沢賢治の伝えたいことを書くために、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述を使って自分の考えをまとめることができる。  
(読むこと エ)

○おすすめ表現、おすすめの場面として選んだ理由を、プロット図やクラゲチャートを使ってグループで紹介しあうことによって、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(読むこと オ)

○比喩や反復などの表現の工夫に気づきながら読むことができる。(伝国イ (ケ))

## 5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・自分が推薦しようと考えた理由を明らかにしながら対象となる本を読み返して、リーフレットで本を推薦しようとしている。	・場面の展開にそって読み、感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述に着目しながら、その本を推薦するために、自分の考えをまとめている。(C-エ) ・おすすめの表現、場面で選んだ理由を紹介し合い、感じたことや考えたことの共通点や相違点をふまえて、自分の考えをまとめている。(C-オ)	・比喩やユーモア、倒置、繰り返しなど、文章に表れる表現の工夫に気づき、文や文章を読んでいる。 (イ (ケ))

## 6. 指導計画

	時	主な学習活動	評価及び留意点※
事前		○学校図書館、市立図書館を活用し、宮沢賢治シリーズの作品を準備する。	
第一次 出 会 う	1	○学習の見通しをもたせるために、宮沢賢治シリーズの読書体験を出し合ったあと、フラワーリーフレットのモデルを提示する。宮沢賢治生誕120周年の展示品の1つとして、宮沢記念館におすすめの本のリーフレットをおくすることを知らせ、学習計画をたてる。  ①め 宮沢賢治作品の感想を出し合い、学習計画をたてよう。 ②手 教師のモデル	【関心】学習の意義を理解し、フラワーリーフレットを使っておすすめの本を紹介するという学習活動の見通しをもって臨もうとしている。 (発言) ※宮沢賢治シリーズの読書体験を全体に紹介する。 ※おすすめの本に選んだ理由を全体に紹介する。
	2	○「雪わたり」のあらすじをとらえるために本文を読み、登場人物と主な出来事に線を引く。そして、主な出来事を付箋に書いてプロット図に整理する。個人で整理したプロット図をグループで紹介しあい、それを使って「雪わたり」のあらすじをリーフレットに書く。  ①め プロット図を使って、主な登場人物とあらすじをまとめよう。 ②手 教科書 線を引いたところ 教師のモデル	【C-エ】登場人物や主な出来事を整理しながら場面の展開にそって読み、全体の大まかなあらすじをまとめている。  ※場面の様子、登場人物のしたこと、主な出来事を付箋に書き、プロット図に整理することで、あらすじをとらえさせる。
	3	○「雪わたり」のおすすめの表現をまとめるために、本文を読んで素晴らしいと思った表現に線をひく。そのなかから、おすすめしたい表現を選び、それを選んだ理由をクラゲチャートにまとめる。  ①め 「雪わたり」の素晴らしい表現の中から、自分の	【C-エ】表現技法、登場人物の心情、情景描写など優れた叙述に着目しながら読み、付箋にまとめている。 【言語】比喩やユーモア、倒置、繰り返しなど、文章に表

	<p>おすすめ表現を探ろう。</p> <p>①手 表現技法 ・オノマトペ ・倒置法 ・反復 ・情景描写 ・比喻 登場人物の心情 教科書</p>	<p>れる表現の工夫に気付き、文や文章を読んでいる。 ※おすすめの表現とはどのようなことを示すのかを確認し、比喻、反復、擬人法などの表現技法を押さえる。</p>
4	<p>○「雪わたり」のおすすめ表現の理由をまとめるために、自分のおすすめしたい表現とその理由をグループで紹介する。紹介を行ってからクラゲチャートを見直し、おすすめに選んだ理由をリーフレットに書く。</p> <p>②め 同じところや違うところを探しながらおすすめの理由を紹介しあい、リーフレットに理由をまとめよう。</p> <p>③手 クラゲチャート 教師のモデル 表現技法 教科書</p>	<p>【Cーオ】、自分の考えとの共通点や相違点を考えながら、グループでおすすめの表現として選んだ理由を紹介し合い、自分の考えをリーフレットにまとめている。 ※おすすめ表現として選んだ理由を、クラゲチャートを使ってグループで紹介しあう。リーフレットにおすすめ表現で選んだ理由を書くために、自分の考えとの共通点や相違点を出し合わせる。</p>
5	<p>○「雪わたり」のおすすめの場面をまとめるために、プロット図を使ってあらすじをとらえながら、自分が一番おすすめしたい場面を考えリーフレットに書く。</p> <p>④め 「雪わたり」を読んで、おすすめ場面をまとめよう。</p> <p>⑤手 プロット図 教科書 おすすめ場面とは</p>	<p>【Cーエ】表現技法、登場人物の心情、情景描写など優れた叙述に着目しながら読み、おすすめ場面をまとめている。 ※プロット図を使って、「雪わたり」のなかでおすすめする場面はどこなのかを考えさせる。</p>
6	<p>○「雪わたり」のおすすめ場面の理由をまとめるために、自分のおすすめしたい場面とその理由をグループで紹介する。紹介を行ってからクラゲチャートを見直し、おすすめに選んだ理由をリーフレットに書く。</p> <p>⑥め 同じところや違うところを探しながらおすすめの理由を紹介しあい、リーフレットに理由をまとめよう。</p> <p>⑦手 クラゲチャート 教師のモデル 感想の言葉集</p>	<p>【Cーオ】、自分の考えとの共通点や相違点を考えながら、グループでおすすめ場面として選んだ理由を紹介し合い、自分の考えをリーフレットにまとめている。 ※あらすじやおすすめの表現と関連させて、おすすめする場面に選んだ理由を考えさせる。</p>
7	<p>○「雪わたり」で宮沢賢治が何を伝えたかったのかをまとめるために、あらすじ、おすすめ表現、おすすめ場面など各パーツを使って、宮沢賢治が作品に込めた思いを想像しながら自分の考えをまとめる。</p> <p>⑧め 「雪わたり」にこめた宮沢賢治のメッセージを考え、リーフレットをまとめよう。</p> <p>⑨手 教師のモデル 各パーツ</p>	<p>【Cーエ】おすすめ表現やおすすめ場面など優れた叙述に着目しながら読み、宮沢賢治が作品にこめた思いについて自分の考えをまとめている。 ※これまでにまとめたリーフレットのパーツを手がかりに、「雪わたり」にこめた宮沢賢</p>

第二次 追求する		感想の言葉集	治の思いを想像させ、自分の考えを書かせる。
	8	<p>○「おすすめの本」のあらすじをとらえるために本文を読み、登場人物と主な出来事に線を引く。そして、主な出来事を付箋に書いてプロット図に整理する。個人で整理したプロット図をグループで紹介しあい、それを使って「おすすめの本」のあらすじをリーフレットに書く。</p> <p>①め プロット図を使って、主な登場人物とあらすじをまとめよう。</p> <p>①手 おすすめの本 線を引いたところ 教師のモデル 雪わたりのリーフレット</p>	<p>【Cーエ】登場人物や主な出来事を整理しながら場面の展開にそって読み、全体の大まかなあらすじをまとめている。</p> <p>※場面の様子、登場人物のしたこと、主な出来事を付箋に書き、プロット図に整理することで、あらすじをとらえさせる。</p>
	9	<p>○「おすすめの本」のおすすめの表現をまとめるために、本文を読んで素晴らしいと思った表現に線をひく。そのなかから、おすすめしたい表現を選び、それを選んだ理由をクラゲチャートにまとめる。</p> <p>①め 「おすすめの本」の素晴らしい表現の中から、自分のおすすめ表現を探ろう。</p> <p>①手 表現技法 ・オノマトペ ・倒置法 ・反復 ・情景描写 ・比喻 登場人物の心情 おすすめの本 教師モデル 雪わたりのリーフレット</p>	<p>【Cーエ】表現技法、登場人物の心情、情景描写など優れた叙述に着目しながら読み、付箋にまとめている。</p> <p>【言語】 比喻やユーモア、倒置、繰り返しなど、文章に表れる表現の工夫に気付き、文や文章を読んでいる。</p> <p>※おすすめの表現とはどのようなことを示すのかを確認し、比喻、反復、擬人法などの表現技法を押さえる。</p>
	10	<p>○「おすすめの本」のおすすめ表現の理由をまとめるために、自分がおすすめしたい表現とその理由をグループで紹介する。紹介を行ってからクラゲチャートを見直し、おすすめに選んだ理由をリーフレットに書く。</p> <p>①め 同じところや違うところを探しながらおすすめの理由を紹介しあい、リーフレットに理由をまとめよう。</p> <p>①手 クラゲチャート 教師のモデル 雪わたりのリーフレット 表現技法 おすすめの本</p>	<p>【Cーオ】、自分の考えとの共通点や相違点を考えながら、グループでおすすめの表現として選んだ理由を紹介し合い、自分の考えをリーフレットにまとめている。</p> <p>※おすすめ表現として選んだ理由を、クラゲチャートを使ってグループで紹介しあう。リーフレットにおすすめ表現で選んだ理由を書くために、自分の考えとの共通点や相違点を出し合わせる。</p>
11	<p>○「おすすめの本」のおすすめの場面をまとめるために、プロット図を使ってあらすじをとらえながら、自分が一番おすすめしたい場面を考えリーフレットに書く。</p> <p>①め 「おすすめの本」を読んで、おすすめの場面をまとめよう。</p>	<p>【Cーエ】表現技法、登場人物の心情、情景描写など優れた叙述に着目しながら読み、おすすめの場面をまとめている。</p> <p>※プロット図を使って、「おすすめの本」のなかでおすすめ</p>	

第二次	<p>① 手 プロット図 おすすめの本 教師のモデル 雪わたりのリーフレット</p>	<p>する場面はどこなのかを考えさせる。</p>
追求する	<p>12 ○「おすすめの本」のおすすめ場面の理由をまとめるために、自分がおすすめしたい場面とその理由をグループで紹介する。紹介を行ってからクラゲチャートを見直し、おすすめに選んだ理由をリーフレットに書く。</p> <p>② め 同じところや違うところを探しながらおすすめの理由を紹介しあい、リーフレットに理由をまとめよう。</p> <p>③ 手 クラゲチャート 教師のモデル 雪わたりのリーフレット 感想の言葉集</p>	<p>【Cーオ】自分の考えとの共通点や相違点を考えながら、グループでおすすめの場面として選んだ理由を紹介し合い、自分の考えをリーフレットにまとめている。</p> <p>※あらすじやおすすめの表現と関連させて、おすすめする場面に選んだ理由を考えさせる。</p>
	<p>13 ○「おすすめの本」で宮沢賢治が何を伝えたかったのかをまとめるために、あらすじ、おすすめの表現、おすすめの場面など各パーツを使って、宮沢賢治が作品に込めた思いを想像しながら自分の考えをまとめる。</p> <p>④ め 「雪あたり」にこめた宮沢賢治のメッセージを考え、リーフレットをまとめよう。</p> <p>⑤ 手 教師のモデル 雪わたりのリーフレット 各パーツ 感想の言葉集</p>	<p>【Cーエ】おすすめの表現やおすすめの場面など優れた叙述に着目しながら読み、宮沢賢治が作品にこめた思いについて自分の考えをまとめている。</p> <p>※これまでにまとめたリーフレットのパーツを手がかりに、自分が選んだ本のなかでの宮沢賢治の思いを想像させ、自分の考えを書かせる。</p>
第三次 生かす	<p>14 ○フラワーリーフレットを完成させ、グループで交流を行い、友達が紹介したリーフレットの感想を書く。</p> <p>⑥ め フラワーリーフレットを完成させ、おすすめの本を紹介しよう</p> <p>⑦ 手 フラワーリーフレット</p>	<p>【関】自分のフラワーリーフレットを使って、おすすめの本を紹介し合い。お互いのリーフレットのよいところを見つけながら発表している。 (発言 ふりかえり)</p>
事後	<p>○宮沢記念館にフラワーリーフレットをおくり展示してもらおう。記念館と学芸員との交流をはかり、さらに宮沢賢治作品の読書へとつなげる。</p>	

8. 本時の流れ (10/14)

題目	「おすすめの本」のおすすめの表現の理由をまとめる	指導者	T1 矢田 倫一 T2 吉武 諒 東 亜希子	
主眼	「おすすめする本」の素晴らしい表現として選んだ理由を、クラゲチャートを使ってグループで紹介し合い、推薦する理由の共通点や相違点を考えることを通して、自分のおすすめ理由を見直しリーフレットにまとめることができる。			
過程	学習活動	時	指導○T1 ●T2 指導上の留意点・	・評価 ※備考
つかむ       考える	1. 前時までの学習をふりかえり、本時の活動を確認し見通しをもつ。	5	<p>○前時までの学習を振り返りながら、めあてのと手がかかりを確認し、本時の学習の流れを大まかに確認する。 ●めあてを板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     同じところや違うところを探しながらおすすめの理由を紹介しあい、リーフレットに理由をまとめよう。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     手がかかり                      クラゲチャート                      教師のモデル                      表現技法                      教科書                 </div>	
	2. クラゲチャートを使ってお気に入りの表現として選んだ理由をグループで紹介しあう。	15	<p>○クラゲチャートを使って、おすすめの表現として選んだ理由を、グループ内で紹介させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「雪わたり」で行った紹介の仕方を想起させ、活動の見通しをもたせる。</li> <li>・宮沢賢治作品の素晴らしさを伝えること、リーフレットを読む相手(学芸員、観光客)を確認する。</li> <li>・自分の考えとの共通点や相違点をさがし、それについて意見交換を行わせることを押さえる。</li> <li>・おすすめの表現として選んだ理由が、表現技法、素晴らしい書き方などが入っているのか、紹介の視点を確認する。</li> <li>・クラゲチャートを修正するときは赤ペンで行うことを確認し、交流によって付け加えたり、訂正したところを見やすくする。</li> </ul> <p>●T1と協力して、グループの子ども達の支援にあたる。</p>	<p>【C-オ】 自分の考えとの共通点や相違点を考えながら、グループでおすすめの表現として選んだ理由を紹介し合い、自分の考えをリーフレットにまとめている。 (発言) (リーフレット)</p>
	3. リーフレットにお気に入りの表現の理由をま	10	○グループの友達に紹介したクラゲチャートを見直し、リーフレットにおすすめの表現の理由をまとめさせる。	



	とめる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで出された意見、クラゲチャートを使って、リーフレットを書くことを押さえる。</li> <li>本の文章を読んだり、使ったりすることを確認する。</li> <li>●T1と協力して子ども達の支援にあたる。</li> </ul>
出し合う	4, リーフレットに書いた、おすすめ表現の理由を発表する。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーフレットに書いたお気に入りの表現の理由を全体に紹介する。</li> <li>・プロジェクターにリーフレットを投影する。</li> <li>・紹介した本を読んでいるのか全体の中で確認し、おすすめ表現の理由が伝わってきたかを確認する。</li> <li>●プロジェクターに投影をする。</li> </ul>
ふりかえる	5, 本時の活動のふりかえりを書く。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループでの話し合いについてふりかえりを書かせる。</li> <li>・どのような共通点、相違点があったのかを想起させる。</li> </ul>

評価基準

- A 自分の考えとの共通点や相違点をつかみ、おすすめ表現の理由を、表現技法、登場人物の心情、情景描写などすべてを結びつけてまとめている。
- B 自分の考えとの共通点や相違点を考えながらグループで紹介しあい、おすすめ表現の理由をリーフレットにまとめている。
- C クラゲチャートに書いた言葉を、そのままリーフレットにまとめている。

9. 板書計画

十二月十日  
私がおすすする宮沢賢治作品はこれです！ ⑩  
〜フラワーリーフレットで  
宮沢賢治のメッセージを伝えよう〜

①め

同じところや違うところを探しながらおすすめ理由を紹介しあい、リーフレットに理由をまとめよう。

②手

- ・クラゲチャート
- ・教師のモデル
- ・表現技法
- ・教科書

③ふ

話しあいのなかで、どのようなことが同じで、何が違っていったか。

・おすすめ場面が同じだった。  
・理由が違っていただけ、そこもいいなと思った。

スクリーン

